

安全データシート

作成:2020年 8月20日

改訂:2022年12月 1日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KH170-04
製品名 : キタシーブフロアブル
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2(肝臓、腎臓、膀胱、心臓)
環境に対する有害性 水生環境有害性 短期(急性) : 区分1
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報

- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(肝臓、腎臓、膀胱、心臓)の障害のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・環境への放出を避けること。

【応急措置】

- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名/一般名 :

3-[5-(ジフルオロメキシ)-1-メチル-3-(トリフルオロメチル)ピラゾール-4-

イルメチルスルホニル]-4, 5-ジヒドロ-5, 5-ジメチル-1, 2-オキサゾール
(一般名:ピロキサスルホン)
2', 4'-ジフルオロ-2-(α , α , α -トリフルオロ-*m*-トリルオキシ)ニコチンアニリド
(一般名:ジフルフェニカン)

成分及び含有量: ピロキサスルホン 7.4%
ジフルフェニカン 7.4%
<その他> 水、界面活性剤等 R

化学式: C₁₂H₁₄F₅N₃O₄S / ピロキサスルホン
C₁₉H₁₁F₅N₂O₂ / ジフルフェニカン

官報公示整理番号: 安衛法 8-(7)-1432 ピロキサスルホン
8-(1)-3092 ジフルフェニカン

CAS No.: 447399-55-5 / ピロキサスルホン
83164-33-4 / ジフルフェニカン

4. 応急措置

眼に入った場合:直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合:汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。

吸入した場合:被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服を緩めて深呼吸をさせる。汚染された衣類や保護具を取り除く。

飲み込んだ場合:被災者を安全な場所に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:水、強化液、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器及び乾燥砂

使ってはならない消火剤:データなし

消火活動上の注意:燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、飛沫を口に入れたり吸入したりしないようにする。

環境に対する注意事項:流出した製品が河川に影響を及ぼさないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意:秤量等の取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに飛沫を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

火災・爆発の防止:通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意:直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:取り扱いについては、局所排気装置を併用する。有害物が環境中に放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。

保護具:防毒マスク、ゴム手袋、保護メガネ、作業着、帽子等

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 類白色水和性粘稠懸濁液体
臭い	: データなし
pH (原液)	: 7.8
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限/可燃範囲	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.09
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子性状	: データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない	LD50 : >2,000 mg/kg(ラット)
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない	LD50 : >2,000 mg/kg(ラット)
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし	
急性毒性(吸入:ミスト)	: データなし	
皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない	軽度刺激性(ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分に該当しない	軽度刺激性(ウサギ)
呼吸器感作性	: データなし	
皮膚感作性	: 区分に該当しない	陰性(モルモット)
生殖細胞変異原性	: 分類される物質を含まないため区分に該当しない。	
発がん性	: 分類される物質を含まないため区分に該当しない。	
生殖毒性	: 分類される物質を含まないため区分に該当しない。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類される物質を含まないため区分に該当しない。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: ピロキサスルホンとして、区分2(腎臓、肝臓、膀胱、心臓)	
誤えん有害性	: データなし	

12. 環境影響情報

水生生物に対する影響

混合物としてのデータは無いが、含有されている化合物の毒性知見から水生環境有害性(急性、慢性)はいずれも区分1とした。

<既知化合物の毒性>

生態毒性 魚	コイ	: 96時間LC50	>0.0939 mg/l (ジフルフェニカン)
		: 96時間LC50	>3.75 mg/l (ピロキサスルホン)

		: 96時間LC50	1.21 mg/l (製剤推定値)
甲殻類	オオミジンコ	: 48時間EC50	>0.19 mg/l (ジフルフェニカン)
		: 48時間EC50	>4.4 mg/l (ピロキサスルホン)
		: 48時間EC50	0.36 mg/l (製剤推定値)
藻類	緑藻類	: 72時間ErC50	0.00064 mg/l (ジフルフェニカン)
		: 72時間ErC50	0.00074 mg/l (ピロキサスルホン)
		: 72時間ErC50	0.0046 mg/l (製剤推定値)
残留性／分解性		: データなし	
生体蓄積性		: データなし	
土壌中の移動性		: データなし	
オゾン層への有害性		: データなし	
その他		: 除草剤であり、植物に影響がある。	
			水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してしようする。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送前に、容器の破損、腐食、漏れが無いことを確認する。移送取り扱いは丁寧にを行う。

国連分類	: クラス9(有害性物質)
国連番号	: 3082(環境有害物質、液体)
国内規制	
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法	: 第24415号
消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: (2023年4月1日以降) 第二種指定化学物質 779 ジフルフェニカン
毒物劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献:	1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
	2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
	3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会

4)GHS文書 改訂第6版(2015年)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。